

一般社団法人笛吹青年会議所

2021年度 理事長所信（案）

■ はじめに

新型コロナウイルスの感染拡大により日本だけでなく、全世界が感染症の危険に晒され、ロックダウンや入国制限、オリンピック延期など、私たちの生活や仕事において、経済的な動きが停滞し過去に経験した事のない事態がおきました。私たちが住むこの地域においてもその被害を逃れることができず、農業や産業、観光業といったこの町の誇れるものが、この感染症によって経済的な大打撃を受けました。

その結果、急速にデジタル化が進み企業ではテレワークやリモート会議など社会全体で様々な変革がおき、今までは当たり前だった習慣や価値観が大きく変わっています。また感染症の収束までには長期戦を覚悟しなければならない可能性が起きています。例え感染拡大が収束しても地域の産業活動や社会生活が元通りになるわけではなく、2020年5月に提言された新しい生活様式が社会全体で求められる時代となり地域の経済や社会生活は今後大きく変化すると思います。

こんな時代だからこそ、私たちはこの困難に立ち向かい、地域の新たな経済基盤を作るべく、さらなる活動に尽力していかなければなりません。もちろんすぐには成し得るものではなく、だからといって足踏みをしているわけではありません。一刻も早く、この地域に何が必要なのか、そして今、我々に何ができるのかを判断し、行動に移すことが求められています。

私たちは、その時代時代に則した問題提起を行い、誰の為に、何の為に、を常に考え、「明るい豊かな社会」の実現の為、「まちづくり」運動を継続的に行う必要があると考えます。

今、この困難を打破するべく、我々が培ってきた経験と青年としての若く力強い行動力を駆使し、地域の活性、さらなる発展をする為に率先して行動をおこしていかなければなりません。これまで誰もが思い込んでいた常識や価値観に縛られず、このまちを想い、人を想い、また会員を想い、この地域に笑顔と活気を取り戻すことができる新たな地域づくりを築きたいと思います。私たちの行動一つ一つが未来の笛吹を創り、魅力ある笛吹市の実現に向けてより良い活動を展開していきます。

■ 基本方針① 地域改革を基軸としたまちを想う心

このままの状況を見ているだけでよいのでしょうか。

はじめに述べたように人やモノの動きの遮断や国内の経済活動の抑制により笛吹市でもインバウンドの減少をはじめとする観光業や飲食業に大きな影響が出るなど、地域経済において深刻な問題が起こっています。

人と人、人と空間といった社会生活が大きく変化している今、私たちが理想に掲げる明るい豊かな社会の実現には、今まで以上に地域に住む人たちや行政と協働して、この危機を柔軟に受け止め、ピンチをチャンスに変える視点を持ち今後、社会全体と経済を復興させる為のまちづくり活動を展開していくことが重要です。

私たち青年会議所がこれまでまちづくり事業で培ってきた地域コミュニティーや行政との連携をさらに強め、今後どんな危機にも柔軟に対応できる地域社会を作り上げていかなければならないと考えます。多くの地域住民や行政に力を借りながら、地域全体で復興させる意識を共有し、地域の活性化に向けて事業展開していきます。

■ 基本方針② 新しい青少年育成を基軸とした子供達を想う心

次世代を担う子供たちはこの地域の宝です。

今回の新型コロナウイルス感染症により子供たちの遊びや学びは制限され、今までのように教育が出来ず社会全体が新しい時代の教育を求めています。

文部科学省の初等中等教育では家庭の経済的な状況や地域などに関わらず、学習の保障、発達成長の保障、健康の保障などがコロナ時代であろうと変わることなく約束されています。さらに「Society5.0」の時代にこそ異年齢、異学年の協働学習や学校だけではない地域との協働学習を通じて、他者と協働しつつ自ら考え抜く力を身に付ける事が必要とされ対面指導とオンライン教育といった新しい教育様式を実践すべきとしています。

これからの子供達が健全な道を歩み続けることのできる環境づくりは地域の人々や我々青年会議所が示さなければならぬと考えます。青年会議所が率先して行政や地域の人々さらには家庭との連携を図り、青少年育成の環境づくりをしていきます。

いま一度、子供たちの育成には何が必要なのかを考え、可能性を広げる青少年期の子どもたちの夢を育み、急激に変化する時代の流れに動じない強い意志を持った青少年の育成を展開していきます。

■ 基本方針③ 成長を基軸とした会員を想う心

私たちはなぜ一生懸命に青年会議所活動を行い、共に汗を流し、共に笑い、共に励まし合いながらその活動に打ち込むのでしょうか。

それは青年会議所が成長を約束された団体だからです。

私は地域の為、人の為にいつも考え、多くの仲間と時間を共有し、多様な価値観に触れ、互いに学ぶことで未来を担う青年経済人としての責任感が生まれ成長を遂げることができるからだと考えています。

青年会議所活動の中で精神面や目標と現状の差といった問題に直面する事があります。そういった問題や精神の部分の解決ができるようになれば個として解決する力が大きくなり、新たなステージへと成長できる。それが組織としても大きな活性化にも繋がります。

「成功の反意語は失敗ではない挑戦しなかったことである。」という言葉をよく耳にします。挑戦して失敗する事も成長であり、何かに挑戦した事もまた成長だと思います。

この地に青年会議所が在って良かった、青年会議所で活動をしてきて良かった、いい仲間に出会えて良かったと、そう言われる組織であるために、40歳までという限りある時間の中で失敗を恐れず果敢に挑戦し、青年時代を大切にしてほしいと思います。

■ 基本方針④ 活発な会員拡大を基軸とした新しい人財を想う心

青年会議所は40歳までという時間の中で会員同士が仲間として関係を築くことのできる大事な期間だと私は思います。その仲間と時間を共有する事は青年会議所活動において魅力的な一つの要素ではないでしょうか。

新たな仲間が増える事で我々の運動も推し進めていくことができ、より青年会議所活動が活発になります。

会員拡大活動は、全会員に拡大方法を認識してもらい全会員による情報交換や情報共有が必要となります。青年会議所を知ってもらい、我々の活動を理解してもらう事や様々な場面での出会いを大切にすることで同じ方向を向いた新たな仲間を迎えることができると思います。それが未来に進むための原動力となり、全会員が繋がりをもって会員拡大に取り組んでまいります。

■ 結びに

私は2013年に入会し8年が経ち、私はその中で多くの学びや出会いをさせていただきました。何度も苦しい状況を経験し多くの失敗をしました。その度に仲間助けられ支えられ、今の私があると思います。

人は一人では生きていけず、誰かに支えられて生かされています。私たちがあたり前と感じている日常は、誰かの支えから生まれるのであり、かけがえのないものです。

本年度、笛吹青年会議所では明るい豊かな社会の実現に向け、会員一人一人がまちを想い、人を想う気持ちを持ち未来を見据え行動していく事で、子どもたちの笑顔が溢れ、市民一人一人が希望に満ち溢れた魅力ある笛吹市を実現します。

想う心というものは人を動かし、まちをも動かすと私は信じています。

基本理念

「未来の笑顔のために」

一般社団法人笛吹青年会議所 2021年度

第42代理事長 鈴木 貴章